

チュートリアル課題 リンパ節が腫れた早川誠二さん

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2009-01-08 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 東京女子医科大学 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10470/118

2000年度 Block. 5

課題 No. 2

「リンパ節が腫れた早川誠二さん」



シート 1

早川誠二さんは 42 歳の男性である。1 ヶ月ほど前からだるさを自覚した。2 週間前に、両側頸部にしこりを自覚するようになった。近医を受診したところ両側頸部リンパ節が腫脹し、咽頭が発赤していることから、上気道炎の診断で抗生剤、鎮痛解熱剤の投与を受けた。1 週間前から、四肢に紫斑が出現するようになった。

[抽出を期待する事項]

リンパ節腫脹

出血傾向

シート 2

3 日前から 40 °C の発熱が出現するようになった。もう 1 度近医を受診したところ、全身のリンパ節が腫脹し、脾臓も腫れているといわれた。至急で血液検査をしたところ、以下のような結果であった。

WBC 53,000/ μ l、 RBC 182×10^4 / μ l、 Hb 5.5g/dl、 Ht 19.2%、
Platelet 1.3×10^4 / μ l

早川誠二さんは、大学病院の血液内科を受診するように紹介を受けた。

[抽出を期待する事項]

脾腫
白血球増加
貧血
血小板減少

シート 5

早川誠二さんは、すぐに入院し治療を受けた。治療は抗生剤、輸血、化学療法などを受けた。抗生剤の投与で入院翌日には解熱した。また投与された輸血の種類は、赤血球製剤、血小板製剤、血漿製剤などで、投与前に輸血を行う必要性や副作用などの説明を受けた。化学療法についても、その必要性和副作用について説明を受けた。化学療法により、吐き気、食思不振、脱毛などの副作用が出現した。

[抽出を期待する事項]

輸血療法と血液製剤

化学療法と副作用

インフォームドコンセント

シート 6

化学療法を 1 コース行ったところ症状は改善し、入院後約 1 ヶ月で末梢血所見も正常化した。この頃、早川誠二さんは主治医から骨髄移植を勧められた。しかし早川さんには兄弟がいなかったため、ドナーバンクに登録することになった。

[抽出を期待する事項]

造血幹細胞移植

HLA 抗原

非血縁者間造血幹細胞移植